

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立長谷川小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東住吉区
学 校 名	大阪市立長谷川小学校
学 校 長 名	山口 博功

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立長谷川小学校では、第6学年 2名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立長谷川小学校の結果概要

平均正答率については、国語が23%で全国平均と比較して37.9%下回った。算数は31%で全国平均と比較して14%下回った。

しかしながら、平均無回答率については国語・算数とも0%であり、全国平均と比較して3.3%上回っていることから、全ての児童がわからない問題でも最後まで粘り強く取り組んでいることが窺える。日々の学習習慣においては困難なことにもあきらめず、立ち向かい問題に向き合う指導が、児童に定着していることが垣間見える。今後も既習内容の確実な定着と、それらを様々な場面で活用していく力を育む必要である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】課題としては、「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域であり、他の領域と比べて全国平均、大阪市平均との差が極めて大きい。一方、「読むこと」の領域は、全国平均・大阪市平均より低い数値が算出されたものの他の領域と比べて平均値にもっとも近い数値であった。「自分の考えをまとめて文章を書く設問」では、設問の考えを理解し、対象児童が自分の経験を基に自分の考えをまとめて記述し正答することができた。

【算数】課題としては、「変化と関係」「データの活用」の領域であり、他の領域と比べて全国平均、大阪市平均との差が極めて大きく、全問誤答であった。一方、「図形」の領域では、全国平均・大阪市平均よりも低い数値だったものの、昨年度の差よりも13.4%上昇した。図形の学習に対する理解力を向上させた指導の充実が図られた成果である。

質問調査より

「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しましたか。」について、最も肯定的な回答する児童の割合が100%となり、全国平均の66.4%を上回った。また、「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」でも、最も肯定的な回答する児童の割合が100%となり、全国平均の43%を大きく上回る結果であった。「自己有用感・心理的安全性等」「向社会性」に関する項目では、全ての項目で肯定的に回答する児童の割合が100%となった。ICT機器を活用した自己が主体的に学ぶ【探究学習】や安心して学びに向かう適切な学習環境・学級経営を整えるための【SWPBS】に教職員が協働して取り組んできた結果が、学校全体としての落ち着きと子どもたち一人ひとりの心の安定に表れている。

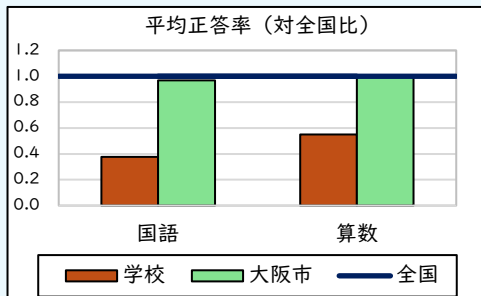
今後の取組（アクションプラン）

学校教育目標「生きてはたらく力と学ぶ力の育成」を達成するため、校外学習・体験活動・近隣校との交流・地域交流などを積極的に行い、教科学習だけでは獲得しえない資質・能力を身につけていく。日々の授業では、学習意欲の定着が難しい児童に対して、いかにして「主体的・対話的で深い学び」につながるような授業構成や指導法、手立てなどを模索しながら、学習における基礎基本の定着のための授業づくりにも取り組んでいく。困難な課題や出来事に直面しても諦めずに主体的に取り組み、解決しようとする前向きな考えをもった児童の育成を目指し、ICTを効果的に活用した探究学習や学校規模望ましい行動支援を積極的に取り組んでいく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

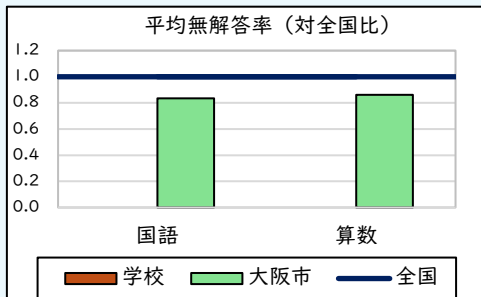
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	23	31
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



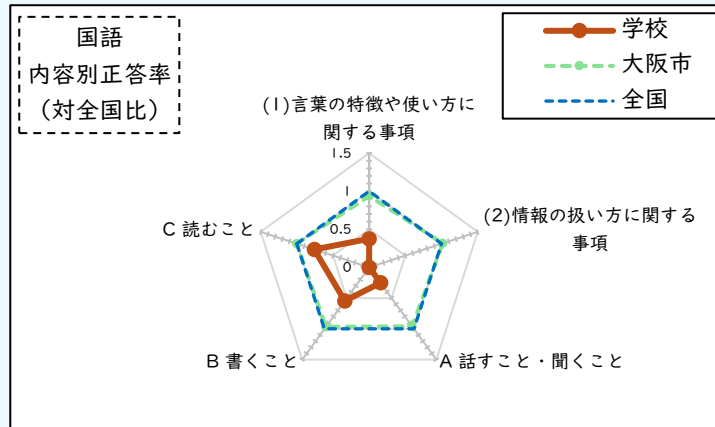
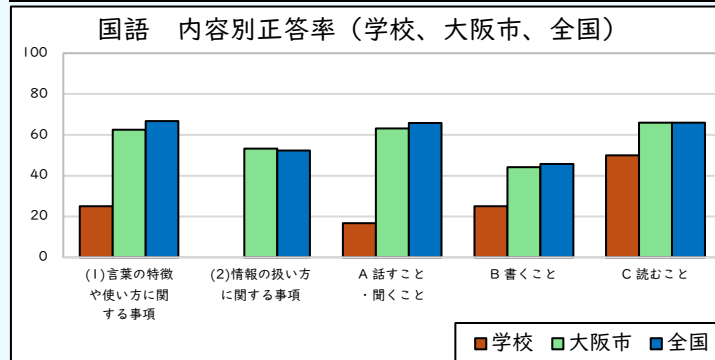
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	0.0	0.0
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



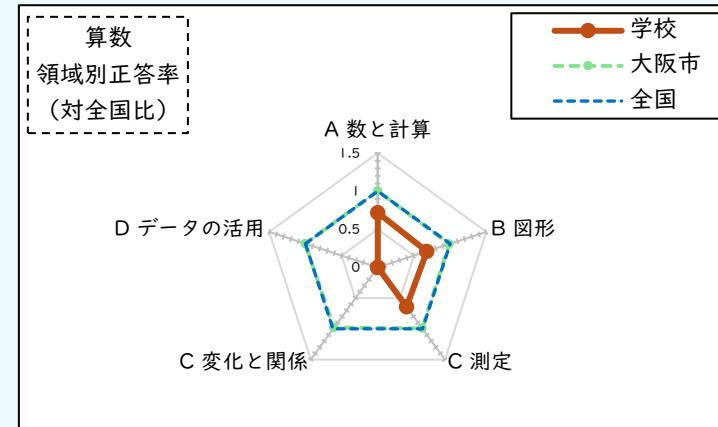
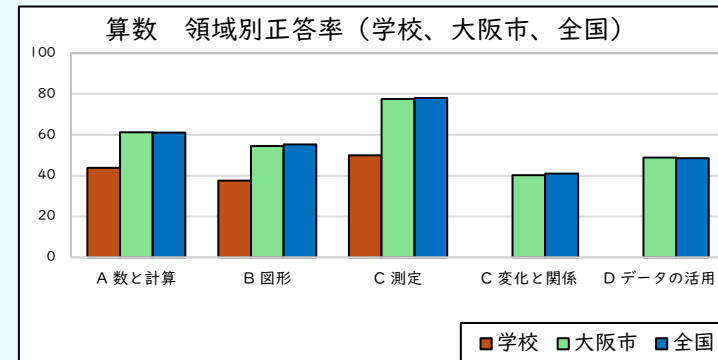
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	25.0	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	0.0	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	16.7	63.1	65.8
B 書くこと	2	25.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	50.0	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	43.8	61.2	61.1
B 図形	4	37.5	54.5	55.3
C 測定	1	50.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	0.0	40.3	41.1
D データの活用	4	0.0	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

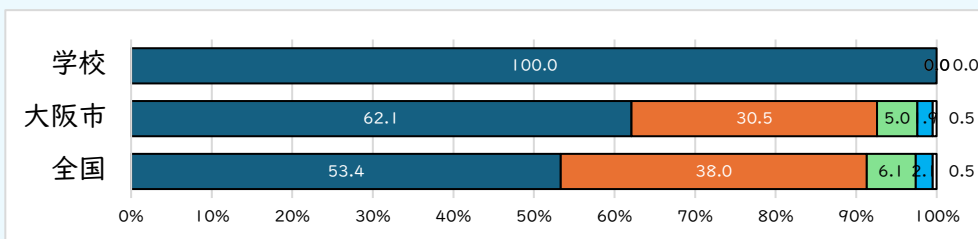
1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号

質問事項

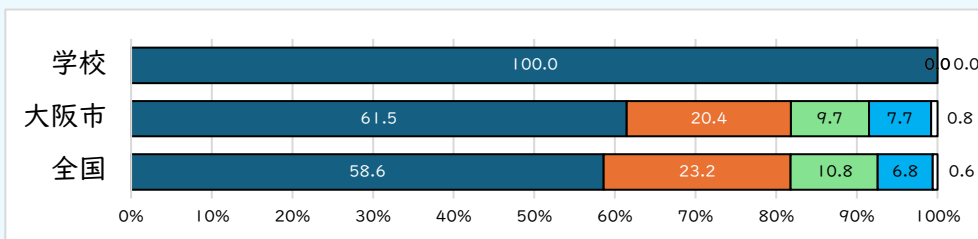
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
-----	------------------------------



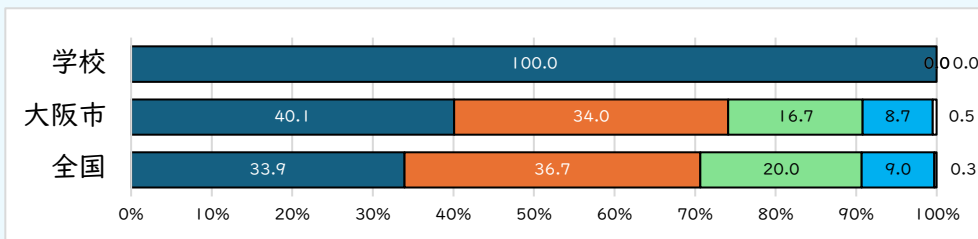
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



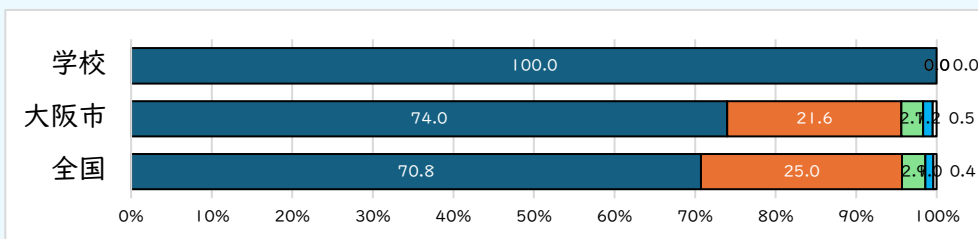
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
------	-------------------------------------



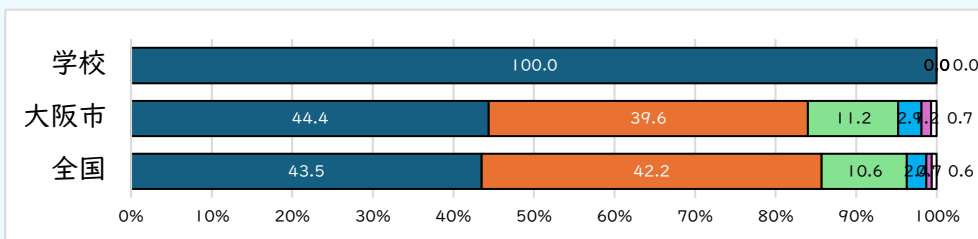
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
------	---------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

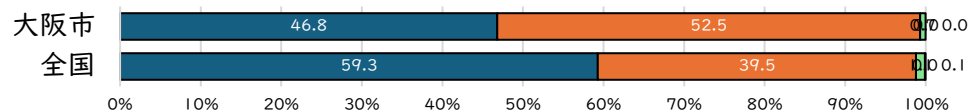
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

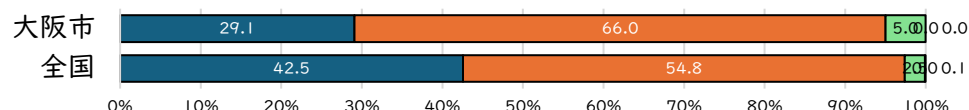


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(17)

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

【学校の回答】 1 よくしている

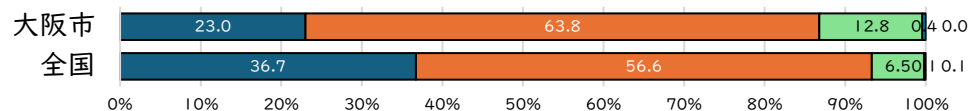


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(39)

調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか

【学校の回答】 1 よくしている

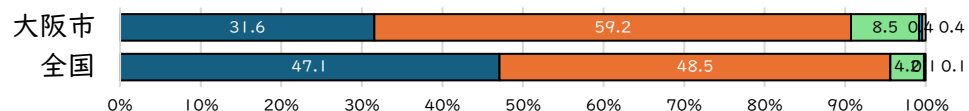


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(40)

調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間において、児童一人一人がICT機器を活用することにより、探究の過程の質が向上することを意識した指導をしていますか

【学校の回答】 1 よくしている

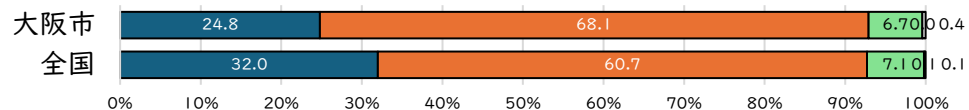


1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(42)

調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 1 よくしている



1 よくしている
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない